

第4期京都市民長寿すこやかプランの進捗状況について

第4期プランでは、6の重点課題を柱とし、186の施策・事業（うち新規の施策・事業は31）を掲げています。第4期計画期間中には、ほぼすべての施策・事業に着手し、目標の達成に向けて取組を進めてまいります。

現時点での第4期プランにおける重点課題ごとの主な取組状況は、次のとおりです。

【重点課題1】認知症をはじめとする要援護高齢者及びその家族の生活支援

取組方針

要援護高齢者及びその家族の自立した生活を支援するため、地域の特性を踏まえて、ニーズに対応した介護サービスを量と質の面から確保するとともに、在宅生活を総合的に支援するという観点から、介護保険以外の保健福祉サービスについても引き続き充実に努めます。また、療養病床の再編成への対応についても、医療・介護の必要な方に、適切なサービスが提供できるよう取り組んでいきます。

また、認知症高齢者が住み慣れた地域で可能な限り在宅生活を継続できるよう、認知症についての正しい理解の普及、原因となる疾患の予防、早期発見、治療、相談体制の充実、認知症高齢者を介護する家族への支援、高齢者虐待防止をはじめとした高齢者の権利擁護対策等多様な側面から取組を進めます。

《政策の体系ごとの進捗状況》

政策の体系		進捗状況	備考
1	介護サービスの充実		
	（1）施設・居住系サービスの充実	○	
	（2）居宅サービスの充実	○	

※ 進捗状況：○ おおむね達成、△ 着手済（未達成）、× 未着手

政策の体系		進捗状況	備考
2	介護保険以外の保健福祉サービスの充実		
	(1) 入所施設の充実	△	未達成の内容 ・【107】軽費老人ホーム（A型）の制度見直しに伴う転換・改築支援及び養護老人ホームの老朽対策（軽費老人ホーム（A型）の制度見直しに伴う転換・改築支援のみ未着手） ・【108】ケアハウスの整備促進
	(2) 在宅保健福祉サービスの充実	○	
	(3) 高齢者を介護する家族への支援	○	
3	認知症高齢者対策の推進		
	(1) 認知症に関する正しい理解の普及	○	
	(2) 認知症の原因となる疾患の予防や相談・診断体制の充実	△	未達成の内容 ・【119】認知症の原因となる疾患の予防に関する知識の普及・啓発 ・【120】認知症高齢者に係る医療体制の充実 ・【121】認知症高齢者のいる世帯への訪問指導の実施
	(3) 関係機関の連携体制の確立	△	未達成の内容 ・【124】関係機関等の連携体制の充実
	(4) 権利擁護の推進	○	
4	高齢者虐待防止事業の推進	○	
5	療養病床の再編成と円滑な転換に向けた支援		
	(1) 療養病床の再編成に伴う受け皿の確保	△	未達成の内容 ・【136】受け皿となる施設等サービス提供基盤の充実や在宅医療の充実〔新規〕
	(2) 在宅ケアの充実	△	未着手の内容 ・【139】診療所の在宅支援機能の強化〔新規〕

※ 進捗状況 : ○ おおむね達成, △ 着手済（未達成）, × 未着手

《主な施策の進捗状況》

1 介護サービスの充実

(1) 施設・居住系サービスの充実（101～104）

- 基盤整備の状況 数値目標あり

	平成21年度		平成22年度	
		進捗率		進捗率
介護老人福祉施設	62施設 (4,496人分)	98.1% (目標:4,585人分)	63施設 (4,571人分)	98.0% (目標:4,664人分)
地域密着型介護 老人福祉施設	5施設 (107人分)		5施設 (107人分)	
介護老人保健施設 (介護療養型老人保健施設を含む)	34施設 (3,571人分)	99.1% (目標:3,603人分)	35施設 (3,631人分)	99.2% (目標:3,661人分)
認知症高齢者グル ープホーム	48施設 (604人分)	85.9% (目標:703人分)	54施設 (703人分)	83.0% (目標:847人分)

※ 記載している目標は、第4期プランで掲げた整備目標数である。

参考 小規模多機能型居宅介護事業所の整備状況

平成21年度	平成22年度
23施設 (571人分)	28施設 (696人分)

(2) 居宅サービスの充実（105～106）

- 居宅サービス（ホームヘルプサービスやデイサービスなど）の基盤整備については、社会福祉法人や医療法人、営利法人等の民間事業所により、着実に整備を実施
- 夜間対応型訪問介護と訪問介護との連携を促進

2 介護保険以外の保健福祉サービスの充実

(1) 入所施設の充実（107～109）

- ケアハウスにおける介護機能の強化（特定施設入居者生活介護の事業者指定の取得等）

(2) 在宅保健福祉サービスの充実（110～113）

- 緊急時に対応するサービスの実施

	平成21年度	平成22年度
緊急通報システム	11,063台	10,783台
短期入所生活介護緊急利用者	705人	751人

(3) 高齢者を介護する家族への支援 (114~116)

- 家族への介護用品の給付

	平成21年度	平成22年度
申請者	2, 293人	2, 554人
給付	93, 596件	107, 742件

- 認知症の人の介護家族交流会 (月1回開催)

3 認知症高齢者対策の推進

(1) 認知症に関する正しい理解の普及 (117~118)

- 認知症あんしん京 (みやこ) づくり推進事業の実施

数値目標あり

	平成21年度	平成22年度
認知症あんしんサポーター	21, 788人	28, 920人
進捗率	43. 6%	57. 8%
認知症あんしんサポートリーダー	1, 530人	1, 697人

※ 認知症あんしんサポーターの養成については、本市が平成20年9月市会において、平成26年度末までに50, 000人を目標数として表明している。

(2) 認知症の原因となる疾患の予防や相談・診断体制の充実 (119~123)

- 身近な地域で専門的な相談が受けられる体制の充実
○ 認知症介護の専門職員の養成

(3) 関係機関の連携体制の確立 (124~125)

- 徘徊高齢者あんしんサービス事業の実施
○ 京都府警察本部が実施している徘徊高齢者SOSネットワークへの参加・協力

(4) 権利擁護対策の推進 (126~128)

- 長寿すこやかセンターにおける権利擁護相談 (弁護士による専門相談)

平成21年度	平成22年度
51件 (4件)	67件 (47件)

- 市長による後見等開始の申立て

平成21年度	平成22年度
18件	39件

4 高齢者虐待防止事業の推進 (129~135)

- 虐待の早期発見・早期対応
- ・ 市民啓発リーフレットの発行
 - ・ 講座・研修等の開催
- 虐待シェルターの設置
- ネットワーク連絡会議の充実

5 療養病床の再編成と円滑な転換に向けた支援

(1) 療養病床の再編成に伴う受皿の確保(136)

※ 介護療養病床は平成24年度末までに廃止とされたが、平成29年まで期限が延長された。

(2) 在宅ケア体制の充実(137～139)

○ 認知症あんしん京(みやこ)づくり推進事業の実施

【重点課題２】総合的な介護予防の推進

取組方針

高齢者が要介護状態になることを可能な限り予防するとともに、要介護状態になっても状態が悪化しないよう維持・改善を図るため、より一層の介護予防に関する知識・情報の普及と啓発に努めます。

また、地域包括支援センターを中心とした介護予防ケアマネジメントの体制を充実するとともに、介護予防事業対象者の把握や、対象者が個々の状況に応じて日常生活の中で自ら取り組めるようなサービス提供を行うなど、介護予防を総合的に推進します。

《政策の体系ごとの進捗状況》

政策の体系		進捗状況	備考
1	地域包括支援センターを軸とした介護予防ケアマネジメント体制の充実		
	（１）地域包括支援センターの適切かつ円滑な運営	○	
	（２）自立支援のための介護予防ケアマネジメント	○	
2	地域支援事業による介護予防サービスの提供		
	（１）介護予防特定高齢者施策の対象の把握	○	
	（２）介護予防特定高齢者に対する介護予防サービス（ハイリスクアプローチ）の提供	△	未達成の内容 ・【２０９】（地域介護予防推進事業における特定高齢者向け介護予防サービスの提供）
	（３）介護予防一般高齢者に対する介護予防サービス（ポピュレーションアプローチ）の提供	○	
	（４）介護予防の評価	○	
3	予防給付による介護予防サービスの提供	○	

※ 進捗状況 : ○ おおむね達成, △ 着手済（未達成）, × 未着手

《主な施策の進捗状況》

1 地域包括支援センターを軸とした介護予防マネジメント体制の充実

(1) 地域包括支援センターの適切かつ円滑な運営（201～204）

- 地域包括支援センターへの相談

平成21年度	平成22年度
235,007件	239,203件

(2) 自立支援のための介護予防マネジメント（205～206）

- 地域包括支援センターにおける介護予防ケアマネジメント作成への支援
 - ・ ケアプランの点検・指導，被保険者訪問，事例検討方式等の実施
- 介護予防サービス事業所における自立支援のための取組
 - ・ 事業者研修・指導（集団指導，実地指導，計画策定担当職員フォローアップ研修）の実施
 - ・ 介護サービス等事業所連絡会の開催

2 地域支援事業による介護予防サービスの提供

(1) 介護予防特定高齢者施策の対象者の把握（207～208）

- 生活機能評価をはじめとする多様な経路からの対象者の早期発見

(2) 介護予防特定高齢者に対する介護予防サービス（ハイリスクアプローチ）の提供（209～213）

- 特定高齢者向け介護予防サービス参加者 数値目標あり

	平成21年度		平成22年度	
		参加割合		参加割合
参加者	747人	13.3%	735人	13.2%
対象者	5,599人	(目標:10%)	5,584人	(目標:14%)

※ 記載している目標は，第4期プランにおいて設定したものである。

(3) 介護予防一般高齢者に対する介護予防サービス（ポピュレーションアプローチ）の提供（214～226）

- 一般高齢者向け介護予防普及啓発のための教室

平成21年度	平成22年度
3,975回	5,149回

- 健康すこやか学級の実施

	平成21年度	平成22年度
実施数	3,988回	4,215回
利用者	93,657人	97,605人

(4) 介護予防の評価（227～228）

- 介護予防評価事業，継続的評価分析支援事業の実施

3 予防給付による介護予防サービスの提供（２２９～２３１）

- 新たな第１号被保険者に対して、被保険者証、「介護保険ミニガイド」の送付
- 「すこやか進行中！～高齢者のためのサービスガイドブック～」，介護保険事業所情報を区ごとにまとめた「介護保険事業所情報エリアマップ」の配布
- 区役所・支所単位での介護サービス等事業者連絡会の開催（１～２ヶ月に１回）

【重点課題3】健康増進・生きがいの推進

取組方針

市民が、家庭や地域において、心身ともに健やかに高齢期を過ごせるよう、生涯を通じた健康づくりの支援や情報発信を進めます。

また、高齢者が知識や経験、特技等を生かしながら、意欲や関心をもって社会活動に参加し、生きがいを感じることができるよう、地域の資源を活用した多様な活動の場づくりや環境整備、情報提供等を充実していきます。

＜政策の体系ごとの進捗状況＞

政策の体系	進捗状況	備考
1 主体的な健康づくりの推進		
（１）疾病の予防と健康づくり対策	○	
（２）健康づくりを支援する環境づくり	○	
2 多様な生きがいの推進		
（１）高齢者の活動の場と情報提供の充実	○	未達成の内容 ・【322】（高齢者の多様な能力を生かす「知恵シルバーセンター（仮称）」の整備〔新規〕）
（２）生涯現役で社会貢献できる環境づくり	○	

※ 進捗状況：○ おおむね達成、△ 着手済（未達成）、× 未着手

＜主な施策の進捗状況＞

1 主体的な健康づくりの推進

（１）疾病の予防と健康づくり対策（301～304）

○ 生活習慣病等を予防する施策の充実

	平成21年度	平成22年度
健康づくりファイル交付	3,331冊	2,927冊
健康相談 相談者	1,834人	1,444人
基本健康診査 受診者	胃がん	10,539人
	肺がん	35,506人
	大腸がん	18,322人
	乳がん	27,429人
	子宮がん	19,908人
健康教育	実施数	350回
	受講者	7,876人
訪問指導	43件	28件

(2) 健康づくりを支援する環境づくり (305~311)

○ 地域保健の推進

		平成21年度	平成22年度
集団健康教室	実施数	133回	111回
	参加者	2,207人	2,274人
健康づくり出前教室	実施数	217回	201回
	参加者	5,669人	5,494人

2 多様な生きがいつくりの推進

(1) 高齢者の活動の場と情報提供の充実 (312~322)

○ 敬老乗車証の交付

	平成21年度	平成22年度
交付者	119,076人	120,978人

○ 老人クラブ活動の活性化に対する支援

	平成21年度	平成22年度
クラブ	1,132クラブ	1,126クラブ
会員	62,998人	61,587人

○ 身近な地域での活動の場の提供

- ・ 老人いこいの家 (5箇所), 老人福祉センター (17箇所) の運営
- ・ 老人クラブハウス (平成22年度末118箇所) 設置運営費用の一部助成
- ・ 学校ふれあいサロン (134校), 学校コミュニティプラザ (14ゾーン), ふれあい手作り事業 (旧名称: 学校ふれあいパーク 平成22年度末22校) の実施

○ 保養の場の提供

	平成21年度	平成22年度
老人保養センター利用者	59,793人	56,686人
久多いきいきセンター利用者	4,221人	3,865人

○ 知恵シルバーセンターの整備 (本格運用は平成22年7月から) 数値目標あり

	平成22年度
登録団体	99団体
活動者 (※)	2,824人
進捗率	9.41%
活動依頼	175件

※ 平成21年策定の「京都未来まちづくりプラン」において, 平成23年度末までに活動者30,000人の登録を共汗指標として設定している。

(2) 生涯現役で社会貢献できる環境づくり (323~325)

○ 老人クラブ助成等事業, 知恵シルバーセンター事業等の実施

【重点課題４】地域における総合的・継続的な支援体制の整備

取組方針

認知症高齢者やひとり暮らし高齢者等が増加する中，住み慣れた地域での生活の継続を支援するため，地域密着型サービス（※１）の普及・啓発と基盤整備の更なる推進等により，日常生活圏域（※２）を基本としたサービス提供体制の整備を図ります。

また，各種サービス提供機関，地域住民による自主的な活動等との連携を図り，地域全体で高齢者を見守り支えるためのネットワークづくりを進めます。

＜政策の体系ごとの進捗状況＞

政策の体系		進捗状況	備考
1	地域の特性に応じた地域密着型サービスの提供		
	（１）日常生活圏域の設定と地域密着型サービスの基盤整備	○	
	（２）地域密着型サービスの適正な運営の確保	○	
2	地域ケア関係機関の連携		
	（１）事業者への指導	○	
	（２）市民の信頼の確保	○	
	（３）介護保険財政の安定的運営	○	
3	相談・情報提供体制の充実	○	
4	地域住民による自主的な活動の推進	○	
5	ひとり暮らし高齢者への支援	○	未達成の内容 ・【４２６】「一人暮らしお年寄りサポーター」の創設〔新規〕

※ 進捗状況 : ○ おおむね達成, △ 着手済（未達成）, × 未着手

《主な施策の進捗状況》

1 地域の特性に応じた地域密着型サービスの提供

(1) 日常生活圏域の設定と地域密着型サービスの基盤整備（４０１～４０２）

- 地域バランスに配慮した小規模多機能型居宅介護及び認知症高齢者グループホームの整備促進

(2) 地域密着型サービスの適正な運営の確保（４０３～４０８）

- 地域密着型サービス普及・啓発
- 地域密着型サービス運営委員会の設置
 - ・ 「京都市民長寿すこやかプラン推進協議会」の「事業計画ワーキンググループ」を運営委員会に位置付け
- 地域密着型サービス事業者への指導・助言
- 小規模福祉施設スプリンクラー等設備設置助成事業の実施

平成２１年度	平成２２年度
９箇所	８箇所

2 地域ケア関係機関の連携（４０９～４１１）

- 地域包括支援センターを中心とした地域ケア会議の開催
- 介護サービス等事業所連絡会の開催（１～２ヶ月に１回程度、各区・支所単位で開催）

3 相談情報提供体制の充実（４１２～４１６）

- 地域包括支援センターにおける相談機能の強化
- 民生委員・児童委員，老人福祉員による相談活動の推進
- 高齢・障害外国籍市民福祉サービス利用サポート助成事業の実施

4 地域住民による自主的な活動の推進（４１７～４２０）

- 「京（みやこ）・地域福祉推進指針」の推進

	平成２１年度	平成２２年度
京・地域福祉パイロット事業の申請	２０団体	２９団体

- ・ 全区（１１区）に区地域福祉推進委員会を設置

○ ボランティア活動や市民福祉活動等の推進

		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
市ボランティアセンター	利用者	1 0 0, 2 2 0 人	1 0 7, 1 9 7 人
	ホームページアクセス	9 1, 4 3 5 件	6 5, 5 2 0 件
	講座・研修の参加者	6 6 6 人	5 7 1 人
市民活動センター	利用者	1 4 6, 0 7 2 人	1 5 5, 6 7 4 人
	ホームページアクセス	2 0 4, 2 9 2 件	2 1 1, 2 3 5 件
	講座・研修の参加者	7 2 1 人	6 8 3 人

5 ひとり暮らし高齢者への支援（4 2 1～4 2 7）

○ ひとり暮らし高齢者の把握・援助 数値目標あり

		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
老人福祉員による訪問（月間）		2 8, 2 0 3 件	3 0, 0 4 2 件
老人福祉員（※ 1）		1, 2 1 4 人	1, 3 1 4 人
一人暮らしお年寄り見守りサポーター（※ 2）		9 8 7 人	2, 2 9 2 人
進捗率		9. 9 %	2 2. 9 %

※ 1 ひとり暮らし高齢者の把握・援助の充実のため、老人福祉員を 6 年ぶりに 1 0 0 人増員した（平成 2 2 年度）。

※ 2 平成 2 1 年策定の「京都未来まちづくりプラン」において、平成 2 3 年度末までに一人暮らしお年寄り見守りサポーター 1 0, 0 0 0 人の登録を共汗指標として設定している。

【重点課題５】介護保険事業の適正かつ円滑な運営

取組方針

介護保険事業を適正かつ円滑に運営していくため、関係団体等との連携の下、ケアマネジメントや介護サービスの質の向上に取り組むとともに、保険給付の適正化を図ります。

また、介護分野における人材不足等を改善していくため、安定的な人材の確保及び育成する仕組みづくりに努めます。

《政策の体系ごとの進捗状況》

政策の体系	進捗状況	備考
1 介護サービスの質的向上		
（１）介護・看護技術の向上	○	
（２）利用者や家族への支援	○	
2 介護保険給付の適正化		
（１）事業者への指導	○	
（２）市民の信頼の確保	○	
（３）介護保険財政の安定的運営	○	未達成の内容 ・【５１５】保険料の確実な徴収
3 介護に従事する人材の確保・定着	△	未達成の内容 ・【５１７】介護職員の労働環境や処遇の改善〔新規〕 ・【５１８】教育機関・養成施設等との連携による人材確保〔新規〕 ・【５１９】潜在的有資格者の掘り起こし〔新規〕

※ 進捗状況 : ○ おおむね達成, △ 着手済（未達成）, × 未着手

《主な施策の進捗状況》

1 介護サービスの質的向上

（１）介護・看護技術の向上（５０１）

- 各種研修等の実施

(2) 利用者や家族への支援 (502~504)

○ 介護相談員派遣事業の実施

	平成21年度	平成22年度
相談員	27人	27人
派遣箇所	28箇所	32箇所

2 介護保険給付の適正化

(1) 事業者への指導 (505~507)

- 介護サービス事業者に対する事業者指定、指導監の実施
- 介護サービス事業者に対する調査、指導の強化

(2) 市民の信頼の確保 (508~513)

- 認定調査員、介護認定審査会委員、介護支援専門員に対する研修の実施
- 介護サービス等事業所連絡会の開催(1~2ヶ月に1回程度、各区・支所単位)
- 介護保険給付費明細通知の送付(年2回)
- 介護サービス事業者による介護報酬の不正受給に対する厳正な対応

(3) 介護保険財政の安定的運営 (514~516)

○ 介護保険料の徴収

		平成21年度	平成22年度
徴収率		98.01%	98.18%
	特別徴収	100%	100%
	普通徴収	85.78%	85.40%
滞納処分(差押え)	財産調査	964件	1,026件
	滞納処分	42件	51件
低所得者に対する本市独自減額適用実績		924件	911件

3 介護に従事する人材の確保・定着 (517~522)

○ 京・福祉の研修情報ネット事業の実施(21年11月から運用開始)

	平成21年度	平成22年度
アクセス件数	18,094件	51,885件

- 長寿すこやかセンターにおける、メンタルヘルス相談の実施
- 就職フェア等におけるハートメッセンジャーの活動支援
- 介護の日記念事業の実施

【重点課題6】誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進

取組方針

すべての世代が理解し合い、助け合える世代間の連帯と活力に満ちた共生社会を形成していくため、さまざまな機会を活用して、高齢世代と若年世代とが交流し、世代間相互の理解を深められるよう取り組んでいきます。

また、高齢者が住み慣れた地域で、安心して自立した生活ができるよう、福祉施策と住宅施策やまちづくり施策が融合し、連携を更に深め、ハード・ソフトの両面から高齢者の生活環境づくりに取り組みます。

＜政策の体系ごとの進捗状況＞

政策の体系	進捗状況	備考
1 世代間の交流と理解の促進		
(1) 様々な機会を通じた市民への啓発や交流の場の提供	○	
(2) 福祉教育の推進	○	
(3) 人権意識の高揚	○	
2 高齢者が安心できる生活環境づくり		
(1) すまいづくり	△	未達成の内容 ・【618】住宅政策との連携を図った公的住宅等のストックを活用した介護・福祉サービス拠点の再整備の検討〔新規〕
(2) まちづくり	△	未達成の内容 ・【622】高齢者が歩きやすいまちづくりの推進
(3) 防犯・防災対策	○	
(4) 交通安全対策	△	未達成の内容 ・【637】家庭訪問による交通安全指導の推進 ・【638】あんしん歩行エリア対策事業の推進
(5) 消費者施策	○	

※ 進捗状況 : ○ おおむね達成, △ 着手済(未達成), × 未着手

《主な施策の進捗状況》

1 世代間の交流と理解の促進

(1) 様々な機会を通じた市民への啓発や交流の場の提供（601～606）

- 老人福祉センター（17センター）及び老人いきいの家（5箇所）と児童館及び小学校等との世代間交流事業の実施

平成21年度	平成22年度
16施設（実施率：72.7%）	18施設（実施率：81.8%）

- 「市民すこやかフェア」における三世代表彰の実施
- 市営住宅団地における交流空間の整備
- 敬老記念品贈呈事業の実施

	平成21年度	平成22年度
対象者	319人	318人

(2) 福祉教育の推進（607～610）

- 学校におけるボランティア体験活動（ユースアクション）の推進

	平成21年度	平成22年度
参加者	229人	250人

- 中学生の社会体験活動「生き方探究・チャレンジ体験」推進事業の充実

	平成21年度	平成22年度
受入事業所	3,592箇所	3,745箇所

(3) 人権意識の高揚（611～613）

- 高齢者問題に係る市民への理解と関心を深める機会の提供等、啓発事業の充実
- 啓発の場となる総合福祉イベント「市民すこやかフェア」の実施

	平成21年度	平成22年度
市民すこやかフェア来場者	22,000人	20,000人

2 高齢者が安心できる生活環境づくり

(1) すまいづくり（614～618）

- 介護予防安心住まい推進事業の実施

(2) まちづくり（619～624）

- ユニバーサルデザインに基づく社会環境づくり
- 「京都市緑の基本計画」に基づく緑化推進事業の実施

(3) 防犯・防災対策(625～634)

○ 地域の安心安全ネットワーク形成事業

平成21年度	平成22年度
192学区	227学区

○ 応急手当の普及・啓発

	平成21年度	平成22年度
救命講習修了者	31,397人	34,764人
保健福祉関係者	開催 受講者	129回
対象の講習会		
市内におけるAED設置	1,783台	2,308台

(4) 交通安全対策(635～638)

○ 京都市地域交通安全女性の会による高齢者宅への訪問

平成21年度	平成22年度
860件	801件

(5) 消費者施策(639～642)

○ 市民との協働による消費者啓発

	平成21年度	平成22年度
「くらしのみほりたい」登録者	1,687人	2,274人

○ 消費者相談

	平成21年度	平成22年度
消費者相談	8,016件	7,340件
解決した相談	7,923件	7,271件
法律相談	8,927件	8,862件

第4期プランの重点課題ごとの取組状況について

■重点課題1：認知症をはじめとする要援護高齢者及びその家族の生活支援

介護サービス基盤については着実に整備を進めているところであり、また認知症高齢者対策や権利擁護に関する取組みも着実に推進している。

在宅ケア体制の充実（医療機関と福祉分野の連携等）については今後、更に取組を進める必要がある。

■重点課題2：総合的な介護予防の推進

地域包括支援センターにおける相談件数は年間約24万件に上り、地域の総合相談窓口としての機能を一定果たしているものと評価している。

介護予防特定高齢者に対する介護予防サービスの提供を今後更に増やしていくことで、介護予防の推進を図っていく必要がある。

■重点課題3：健康増進・生きがいづくりの推進

健康診査や健康教室の取組を継続して進めるとともに、敬老乗車証の交付や老人クラブに対する支援を引き続き実施している。

また、平成22年度から新たに知恵シルバーセンターを整備したことから、制度の普及を図り、高齢者がいきいきと活躍できる環境づくりを更に進めていく必要がある。

■重点課題4：地域における総合的・継続的な支援体制の整備

地域密着型サービスの着実な基盤整備や、地域包括支援センターを中心とした地域ケア関係機関の連携の取組を進めるとともに、老人福祉員の増員や一人暮らしお年寄り見守りサポーターの養成を新たに開始するなど、一人暮らし高齢者への支援の取組を進めている。

ボランティア活動や市民福祉活動等の推進について、関係機関と連携し、今後更なる充実を図っていく必要がある。

■重点課題5：介護保険事業の適正かつ円滑な運営

関係団体との連携のもと、各種研修を実施し、介護サービスの質的向上を図るとともに、事業者への指導等を行うことにより、介護保険給付の適正化を図っている。

■重点課題6：誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進

世代間交流の重要性についての啓発等に取組んでいる。

すまいづくりについては、改正高齢者住まい法の動向などを踏まえ、今後、住宅部局とも連携し、検討を進めていく必要がある。